

# ハロウィーン・パーティー

# HALLOWE'EN PARTY

2010年作品

製作:カレン・トラッセル

監督:チャールズ・パーマー

脚本:マーク・ゲイティス

日本語版プロデューサー:武士侯 公佑、間瀬 博美

日本語版演出:佐藤 敏夫

日本語版翻訳:日笠 千晶

出演:

エルキュール・ポワロ … デビッド・スーシェ/熊倉 一雄

アリアドニ・オリヴァ … ソーイ・ワナメイカー/山本 陽子

ジョージ … デビッド・イエランド/坂本 大地

※ ※ ※

ジュディス・パトラ … アメリア・ブルモア/寺内 よりえ

ロウィーナ・ドレイク … デボラ・フィンレイ/久保田 民絵

ミランダ・パトラ … メアリー・ヒギンズ/うえた 星子

レイノルズ夫人 … ソフィー・トンプソン/泉 裕子

フランシス・ドレイク … ジョージア・キング/本名 陽子

エドムンド・ドレイク … イアン・ハラード/居谷 四郎

コットレル牧師 … ティモシー・ウエスト/稲垣 隆史

ウィチカー先生 … フィネラ・ウールガー/水野 千夏

ジョイス・レイノルズ … メイシー・ナイマン/三浦 綾乃

レオポルド・レイノルズ … リチャード・ブレイスリン/早志 勇紀

グッドボディ夫人 … パオラ・ディオニソティ/藤 夏子

マイケル・ガーフィールド … ジュリアン・リンド=タット/田中 正彦

ラグラン警部 … ポール・ソーンリー/林 次樹

フラトン弁護士 … エリック・サイクス/水谷 貞雄



© Agatha Christie Ltd. (a Chorion Company) 2010

ポワロの友人、推理小説家のアリアドニ・オリヴァは、友人に誘われ美しい庭が自慢のロウィーナ邸のハロウィーン・パーティーに参加する。そこでひとりの少女が彼女に「私、殺人をみた」と言うが、虚言癖があることから誰も真剣に取り合わなかった。ところが、パーティーの最中、少女が何者かに殺害される。風邪で体調が悪いオリヴァ夫人に呼び寄せられたポワロは、隠された人々の関係から、事件の真相を明らかとする。

## ◆ウドリー・コモンの悪夢

無邪気な少女が殺害される非道な事件を発端に、過去から連なる邪な悪意を、ハロウィーンにちなんで描く一編。稚気から「殺人を見たことあるよ」と口にした子が直後に抹殺されてしまう展開はサスペンスを感じさせますし、怪奇さと子供こそがハロウィーンの眼目ゆえの筋立てなのでしょう。更に魔女伝説もプラスされていますが、総じて、超自然のムードにはいささか乏しく、むしろ子供たちが躊躇ない悪意の手にかかる筋立てや、犯人の動機と心理の身勝手さこそ尋常ならぬおぞましさを感じられます。

原作では、舞台となるウドリー・コモンに退職したスペンス元警視が住んでいるという設定ですが、以前にも触れましたように、本ドラマシリーズでは『マギンティ夫人は死んだ』の後、彼が登場する回はありません。

## ◆いたずらかおごり

ハロウィーンは、元々は古代ケルト民族の祭が発祥と云われています。10月31日は彼らにとって年の終わりとなる節目で、この時期はあの世とこの世の境界が開き、死者の霊が家に帰って来ると信じられていたそうです。しかし、やはり境界を通して出てくる有害な霊や魔女から身を守るため仮面を被り、焚き火を焚き魔除けをしていたということです。

ハロウィーンを祝うのは主として英語圏の地域で、日本では近年まで、特に米国の生活文化からその様子を窺い知ることが多かったようです。即ち、子供たちが仮装して近所の家々を訪ね、「TRICK OR TREAT!」、つまり「おごつてくれなきゃ、いたずらすぞ!」と問いかけ、住人の大人が用意していたお菓子や小銭を貰って回るというもので、子供たちにとってさぞかし楽しいものであろうことは想像に難くありません。

## ◆メイドとレディー

教会でオルガンを弾くウィチカー先生に扮するフィネラ・ウールガーは、『エッジウェア卿の死』では渦中の女優ジェーン・ウィルキンソンのメイドで、ある証拠の所有者エリスを演じていました。

遺産を遺したスマイス夫人役として僅かに回想シーンに登場するフィリダ・ロウは、『なぞの盗難事件』ではサー・ジョージ・キャリントンのブリッジ好きの妻、レディー・キャリントンを演じました。女優のエマ・トンプソン、ソフィー・トンプソン姉妹は彼女の娘で、妹の方は本話において哀れな少女ジョイスの母親レイノルズ夫人に扮しています。